

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和 6 年 11 月 25 日(月)

2. 開催場所 滝川市まちづくりセンター『みんくる』

3. 審議委員 委員数 7 名

【出席 6名】 委員長:田中 一徳

委員:川口 裕史、前田 綾子、大野 重定、笠原 直巳、深瀬 朝美

【レポート提出 1名】 委員:宮森 彩衣果

【放送事業者側出席者】 山口 清悦、めい

4. 議題 番組審議『流行りの曲はかけまへん』

毎週火曜日 本放送 20:00~20:30/毎週金曜日 再放送 22:00~22:30

5. 議事の概要 番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

- ・関西弁講座の部分は楽しく聴けた。いつも楽しみにしている。
- ・朝ドラの話題について、感想については人それぞれあるものだと思うが、もちろんファンもいるものなので、あまりにもネガティブに評価しすぎると、いろいろなリスナーさんがいる中でバランスが取りにくくなってしまふのではと感じた。
- ・言葉の選び方について、いろいろな誤解を招いてしまうこともあるかもしれないので、少し注意をする必要があると思った。
- ・今回審議した放送回は特に批判的な内容でそれが目立っていたが、仕事帰りなどで普段からこの番組を聴く機会があり、その際の放送に関してはここまではないと思っている。
しかし、すべて電波に乗せて放送がされていて、常に誰かが聴いているという点を考えると、普段の放送から言葉選びなどを意識する必要があると感じた。
- ・全体的に話がまとまっていて、聞きやすいと感じた。
- ・関西弁講座の部分は、根拠に基づいて話してくれているので、勉強になると感じた。
- ・DJ の関西弁も聴いていて、心地よいと感じた。
- ・楽曲については、一度は耳にしたことのあるような楽曲が多く、落ち着く、大人のラジオだという雰囲気を感じた。
- ・かなり毒舌な印象で、嫌なことは嫌だとはっきり言うので賛否両論あるだろうと思うが、訴えたいことは一貫しているし、共感もできるので、自分には好印象だった。

・オープニングで「囁んじゃだめだ・・・、囁んじゃだめだ・・・」とつぶやいているシーンがあったが、こういった気持ちで放送をしているのだと親近感が持てた。

・悪い点をあげると、(放送回にもよると思うが)トークや楽曲に対して批判的な話題が多い印象だったので、ご自身の良いと思うものについてを取り上げる回も聴いてみたいと感じた。

・楽曲紹介について、この人は本当に音楽をやっていて、音楽に詳しい人なんだと感ぜられる内容で、好感が持てた。

・トーク中のBGMがないのが気になったので、なにか用意してもいいのではないかな。

・辛口というか、極論だなと感じる部分が多く、繰り返し聞きたいと思う内容ではなかったが、強烈なインパクトがあった。

・「選挙に行かない人とは付き合いを考えたほうがいい」などの発言は、選挙に行っている自分でも気分の良くない発言だった。

・トークの声もテンポも聴きやすく、良いと思った。

・トークの際、何かBGMが薄くあってもいいのではないかな。

・朝ドラの話は、見ている見えていない関係なく、誰もが少し関心のあるものだと思うので、ドラマを見ていない自分でも興味深く聴くことができた。

・選曲が面白かった。なかなか普段聴くことの少ないジャンル・楽曲が多く、新鮮で楽しく聴けた。

・音楽にすごく詳しい方で、音楽についてのお話も聴いていておもしろいし、勉強になると感じた。

・この地域で関西弁のトークが聴けるのがとても新鮮で、おもしろいと思った。

・選挙の話があったが、曖昧な話でなく具体的なデータも調べて話をしているので、勉強にもなったし、好感が持てた。

・個人的には、なかなか面白い番組だと感じた。

・これまで審議した番組とは打って変わって、ブラックな印象を受けた。

・音楽番組ということで、これまでよく知らなかった楽曲やアーティストも、紹介を受けて聞くことで新たな知識を得ることができた。

・朝ドラについての話題があったが、何事も賛否両論な部分はあると思うが、「あまりおもしろくない」という批判的な部分が少し気になった。

・関西出身ということで、それならではのノリが面白いと感ぜられる部分もあった。また、関西の言葉を紹介する話題は、北海道民からするととても新鮮で、参考になった。

・楽曲に関しての解説も、しっかりと専門的な話も交えられていて、興味を持って聴けた。

・音楽の話だけでなく、さまざまな要素が取り入れられていて、他の番組にはあまりないブラックユーモアさも新鮮に楽しみながら聴くことができた。

・局全体の構成としても、こういった番組があるのは良いことだと思った。

(良い点については、ここまでの委員のみなさんが取りあげているので、あえて気になった部分を取り上げる)

・ブラックジョークもあり、物事に点数をつけたり批評的なスタンスでお話をされる方なんだという印象だったが、

自分としては聴いてて疲れてしまった。しかし、こういった内容が好きな方もいると思うので、人によって分かれると思う。

・選挙の話題について、選挙に対して熱い想いを抱いていたからこそ強い言葉になったのだろうと思うが、「投票しない人はテロリストと同じだ」という発言に関しては、行き過ぎた表現だと感じた。その言葉を聞いた方が真正面から受け取り、おかしい行動を起こしてしまうなどの可能性もないとは言えない、ラジオを通して発言をしている以上、そういった責任があるという点を意識した方が良いと思う。

・問題点に関して「関わらない方がいい」など排他的な意見ではなく、「なぜそうなのか」「どうやったら改善をしていけるのか」などを含めた建設的な意見を述べていった方が、熱い想いを正しく届けることができるのではないかな。

・関西弁講座の部分に関しては、(同じく関西人の立場からすると)適当なことを言っているようにも感じたが、その適当さやブラックジョークがあるのもまた関西ならではのノリなので、道民のリスナーのみなさんに楽しく聴いてもらえているなら良いと思う。

・パーソナリティの歌川さんの重低音ボイスと独特なテンポの話し口調が印象的で、全体的にとっても聴きとりやすかった。

・普段あまり耳にしない大阪弁も新鮮で、声のトーンや表情の違いで何通りもなるというお話から、大阪弁でしか表現できない絶妙なニュアンスも数多くあるのだろうなと興味深く聴けた。

・今の流行りの曲はかけないけれど、朝ドラや選挙のお話など、タイムリーな話題が多く、そこが対照的で面白いなと思った。

・その一方で、選挙に行かない人＝テロリスト要素を持っている、距離を置いた方がいいというお話は、冗談まじりとはいえ違和感をおぼえるリスナーもいたのではないかと感じた。

選挙を通して政治に参加してほしいという気持ちの強さは伝わりますが、自分の身近な人に対する表現としては適切ではないように思うので、様々な人へ広く届けられるラジオだからこそ、もう少し柔らかい言葉で伝えてもらえたら良かった。

・タイトルから、複数のアーティストのマイナー曲からの選曲が多いのかなと思ったが、2週を通して一人のアーティストをじっくりと掘り下げて聴かせてくれるところが良かった。

・それぞれの楽曲のエピソードなど、正確な情報を事前に調べてから紹介してくれている感じがうかがえて、ポルナレフを聴いていた世代の方々はもちろん、初めて聴く方もより楽しめる内容だと思いました。

(その他意見)

7. 審議機関の答申または意見に対して取った措置

番組担当者に通知

8. 意見概要の公表

弊社ホームページ及び番組内にて公表